

センサー

1984年 6月号 第13号

東京温度検出端工業会 会報

就 任 に 際 し て

二 宮 三 郎

私ごとき凡人が、名会長であった故人林さんの後任を引受けましたが、日時のたつに従って、どえらいことになったと、身のひきしまる今日此の頃です。会員の皆様方非力な私を御援助下さって格段の協力を切にお願い申し上げます。

我が国、産業界も昨今やっと底迷から脱して少し明るさが見えてきたようです。一方では大型の倒産があり件数では史上記録を作っている不安定な面もある中で会員の皆さん方は、上昇気流に乗られて、しかも健全な歩みをされていると聞き誠によろこばしいことです。

巷閑、政治家が民間の活力などと空々しいことをさげんでいますが、今更という感がします。日本は昔から民がささえてきた国ですから、会員の皆さんにしても日夜、各自が能力、技術、特性を発揮して重税や物資不足などあらゆる困難と戦って今日の隆盛を得られたと信じています。現在も将来についてもこの活力は失なうことは決してありません。

特別な行政指導とか補助金や保護政策などの恩恵もなく、又護送船団的経営の経験もなくして現在に至った会員ばかりであり、最早やそんな時代でもないと思われれます。とは言っても政治と経済は現実には分離はできない。それでは官僚や政治家に我々業界の指導をせよと言っても無理なことであり、政治家は金になるか票にでもなれば寄ってくるでしょうが、技術とか研究開発ということには感心が少ない。党の役職や大臣の椅子、自からの権利を守るには熱心、一般社会人並の常識さえ持ち合せないような政治家でも人気取りや票のためなら狂奔する。当選すれば数多くの特権を保持して君臨している。ほんとは官僚が支配しているのが日本であると言ってよい。我々が多数で選んだのだから無視もできない。だから諸外国から日本人は無能だ。政治の四等国働き蜂だとよばれようが我々の活力は消えない。反省すべき点は政治家にあまりにも特権を与えすぎたことで、これが四等国とよばれた理由ですから、日本が欧米人の常識を破って近代工業国をつくり世界の注目を集めたのも民間の活力でありこれを維持し永続させる責任と義務があると思っています。

欧米諸国に比べ近年の日本人は愛国心民族意識、義務公德心は底い、権利主義が横行している反面、貯蓄心は高い、これが産業の発展に貢献してきた。又、欧米人は日本

の雇用制度を日本の情緒主義と笑い、自からの欧米型を近代的雇用制度と賛美していた。結果は周知の通りです。その日本も約90年前はイギリス型をまねていた時代もあり今日も福祉制度をまねて走りつづけている。最近はこれも息が切れかけて見直しを初めたようだ。こうしたイギリス型福祉制度は永続しかねるのに政治家が訴えつづけるのは苦勞しないで人気が集り票となると考えているからでしょう。民間人はそれほど愚かではない。こうしたことに熱心なのは政治家ではなく性政治家が多いように思う。私の訴えたいことは民間の活力を根本から削ぐのは高率の課税と不公正税制そして税金の無駄使い、これを改めないで活力を説くのは無知の代表とよんでよい。我々会員も必要な主張は絶えずするべきであると思う。近年欧米を初めアジア諸国から日本に学べと来ている。私もその何人かに会う機会があって聞いてみた。答えは日本が短い間に近代的工業国化したその活力の探究が目的、確かに日本は他国に比べて工業化は早く民間の活力にも強いものが今日まではあったと認めます。

私がヨーロッパ諸国を何度も産業の視察で訪れ、特に感じたのもその点でした。1970年頃の勤勉なドイツ人の姿は今完全に見られない。1983年に欧州を視てその感を深くしました。我々会員を初め産業人として学ぶべき点は欧米に於けるあらゆるものの、基礎研究という点であろう。研究設備、費用人員を十分に満たして基礎的研究をしている。西ドイツなど要求に応じどんな形状や数にも応じられる体制をもっていた。我々もこれをどうしてもまねしたいと願っています。日本式大量生産型は世界情勢が変らない限り維持ができそうに思うが、中進国とよばれたアジアの国が欧米の市場に乱入している。それを防ぐ手段はない。日本が技術と金と人を与えて指導した国の製品ばかりであるから、ヨーロッパ諸国でこうした国の安価な製品にいやと言うほど出合ってきましたからです。次に日本が最も恐れる相手は中国であろう。広い国土と資源そして人材を持つ国、近年二度にわたり中国工業を視察して増々その感を深くしました。

最後になりましたが、私たちの前には技術もさることながら経営上の問題も多く控えています。必至であろう増税に向っての税制の改正、法人法の改正、金融の自由化とそれによって発生する変革はさけられない。同時に影響はあると考えてよい。そして男女雇用平等法など、男女平等はすでに一般が認めています。離婚もすでに妻から八割が出され、男性の女性化は進んでいますから、国債発行残高が110兆円を越えその利子を支払うのに又、国債を発行という借金政策、財政再建という至上命題があり、毎年の経済成長は3パーセント以上は維持しなくてはならぬ。一方変化のはげしい政治経済の流れの中で明るさが永続できるか、社会では礼節を失い公正中立であると信じていたマスコミ界も国家100年の計民族の典隆とか信義から目をそむけ、不公正税制や悪徳政治家脱税無駄使い等の糾弾には熱心でない。芸能界人には異状な熱があるように思える。こうした社会で企業の経営を担当して成功できる秘訣はありません。後退もできない。そこで釈迦に説法は承知で重ねて申します。経済政治の変動を分析して慎重な判断と適切な決断を望んで、挨拶といたします。

会員紹介

二宮電線工業株式会社

代表取締役 二宮三郎

設立 昭和35年

資本金 3000万円

従業員数 30名

本社・工場

〒211 川崎市中原区上丸子山王町2の1050

TEL 044-411-4151

同社の二宮社長には、当会会長を2月よりお願いしていますが、その経歴は非常に変化に富んだものです。軍人として終戦を中国で迎え、帰国後、公務員となり吉田内閣時代には大臣秘書官をなさっていましたが（現職の田川自治大臣は同期生とか）意外な縁で銀行から懇請されて、電線製造の仕事に転身されたのだそうです。

当初は一般電線も製造していましたが、特色のある製品をということで方向転換をして、現在は補償導線と被覆熱電対線で90%を占めています。被覆材料は一般用としてビニール、ポリエチレン、ゴム、耐熱用としてガラス、アスベスト、シリコンゴム、テフロンなど幅広く揃えています。特に新しい耐熱材料の開発には積極的で、二宮社長は度々ドイツへ行って研究されているそうです。製品の品質管理には厳重な注意を払っており、生産設備の合理化・省力化、作業環境の整備、試験検査の徹底及び設備の充実などにも積極的に取り組んでおられます。

又、事務の合理化にも熱心で、オフコン、ワープロの導入も早くから行い、納期の確実なことは定評のあるところ です。

納入先は鉄鋼、原子力など広範囲にわたっていますが、以上のような信頼ある製品によって益々信頼を増して、業績も好調に伸びているそうです。

今後、益々正確な精度と耐熱性など厳しい条件が要求されると思いますが、専門メーカーとして優秀な製品を供給して下さることをお願いし、御発展をお祈り致します。

株式会社 日本熱電機製作所

本社 東京都北区昭和町2-6-5

〒114 TEL 03-893-5421(代)

工場 東京都北区昭和町2-6-13

〒114 TEL 03-800-5559

事業内容 米国ホスキンス社製品

PR、CA、CRC、IC、CC、WWR e

各種熱電対素線及組立加工

各種被覆熱電対及シース熱電対

各種補償導線、各種測温抵抗体及シース測温抵抗体、

熱管理用計測器、理化学器機、石英、ガラス加工

設立年月日 昭和32年5月10日

資本金 900万円

株式会社日本熱電機製作所に設立以前、昭和12年7月に日本熱電機工業所として創業、鉄鋼を主体とした主要産業に熱電対附属品及理化学機械器具の製造販売を始める。当工業会にあっては歴史あるユニークな存在である。現在地には昭和47年9月に移転する。国鉄尾久駅より徒歩数分、大通りに面した明るい事務所、効率第一の機動力ある工場になっている。昭和48年9月に先代代表者を引継いだ現代代表者は当時25才の若さ。良き理解者であり、協力者である「姉」と共に今日を築いていく。昭和50年2月には米国ホスキンス社代理店として輸入部門の別会社である株式会社有信商會を設立、昭和53年5月には株式会社有信商會を吸収合併、米国ホスキンス社の代理店となり、業界市場での基盤を一段と強化していく。今後ホスキンスの素材と独自の加工技術を生かし、時代の要望する製品を次々に開発し、当工業会にあっては主要な存在に成長発展していく事を大いに期待される会社である。

第9回ゴルフ会報告

58年12月2日、武蔵カントリー豊岡コースにおいて、12名の参加を得て開催致しました。

これまでに数々のプロのトーナメントも行なわれている名門コースということで、皆さんはりきって家を出られたと思います。しかし、始まる前にひどいトラブルを起してしまいました。というのは参加予定者の半分以上の人がスタート時間になっても集まらないのです。皆さん交通渋滞にまき込まれ大幅に到着見込みが狂ってしまったようです。

クラブ側に再三お願いをし、1時間もスタート時間を遅らせても、まだ揃いません。結局、1時間半ほど遅れてスタートすることができました。

この点につき、このコースのメンバーでもあり、今回、予約、その他お世話くださった、日本合金製造(株)の森高社長には大変御迷惑おかけ致しました。まことに申し訳ありませんでした。さて、ゴルフの方ですが、日本一バンカーが多いのではないかとわれているほどだそうで、とにかく、大変でした。そのバンカーがまた深いのです。今日はいろいろのバンカーショットの練習が出来て楽しいとか、この深いバンカーから打ってみたいと入れたのだ、とか、とにかく負け惜しみを言っていた人が何人かいたようです。

また、我々のコンペに出場する人の内では、最も良いスコアで回るはずの人が、全く一年ぶりでコースに出たとかで、ハーフで60回近くも打っていたようでびっくりしました。朝のトラブルの影響もあったのか、とにかく、皆さんあまり良い成績とはいえないようでした。また近い内に次回を開催したいと思いますのでよろしくお願い致します。

理 事 会

昭和58年12月8日定例

- ◎林会長急逝に伴う後任会長について
二宮電線工業(株)二宮社長を2月定例理事会に於て正式に選任し就任される。
- ◎新春懇親会を明年2月3日(金)に行う事とし来賓を数名招待する。
- ◎3～4月に技術講習会又は講演会を開催する事としテーマ人選につき2月理事会で決定する。
- ◎定款の一部を変更(追加)する事とし2月理事会で討議決定の上定時総会に上程する。

昭和59年2月3日定例

- ◎二宮電線工業(株)を理事に古河特殊金属工業(株)を監事に選任する。
- ◎二宮電線工業(株)社長二宮三郎氏を会長に選任する。
- ◎定款改訂案を上程審議、原案通り決定。
- ◎形式を変更して新名簿を作成する。
- ◎4月に講演会を開催する。講師は日本長期信用銀行調査部に依頼する。二宮会長接抄。

昭和59年4月5日定例

- ◎定時総会提出議案審議決定
 - ①昭和58年度事業報告及び収支決算報告
 - ②昭和59年度事業計画及び収支予算案
 - ③定款一部追加変更について
- ◎第11回定時総会を5月23日(水)霞ヶ関東海倶楽部に於て開催することとし、通産省計量課の担当官を招待する。

会 の 動 き

- ◎昭和58年11月10日～11日一泊見学会。仙台市。東北大学各研究施設、金属博物館及び東北金属工業(株)仙台工場見学。秋保温泉岩沼屋ホテル宿泊懇親会。参加17名
- ◎昭和58年12月2日第9回懇親ゴルフ大会。武蔵カントリー豊岡コースにて、出席12名
- ◎昭和58年12月6日第9回技術懇親会。都立工業技術センターにて出席10名
- ◎昭和59年2月3日新春懇親会。濱清(本館)にて。来賓6名会員33名出席

工業計器生産実績 (通省産業省機械統計月報による。)

(%は金額の対前年同月(期)比)

(通産省生産動態統計(機械統計)による。)

品 目 名			5 8 年 1 2 月			5 8 年 1 月 ~ 1 2 月		
			数 量 (台)	金 額 (百万円)	(%)	数 量 (台)	金 額 (百万円)	(%)
工 業 計 器	プロセス用 発信器	温 度 計	17,515	358	—	233,212	5,632	—
		流 量 計	5,662	1,412	—	72,234	17,002	—
		そ の 他	8,685	1,601	—	103,352	18,299	—
		(小 計)	(31,862)	(3,371)	—	(408,798)	(40,933)	—
	※ 受信計	指 示 ・ 記 録 計	12,184	1,576	—	181,790	19,601	—
		調 節 計	22,356	1,528	—	228,707	16,627	—
		補 助 機 器	18,957	1,022	—	168,942	11,880	—
		(小 計)	(53,497)	(4,126)	—	(579,439)	(48,108)	—
		操 作 器	3,505	417	182.1	35,806	4,802	152.9
		プロセス用分析計	1,679	345	—	15,759	6,112	—
		プロセス監視制御システム	5,816	4,874	136.7	67,594	56,616	138.1
		その他の工業計器		4,436	—		56,479	—
		(合 計)	(1,539,717)	(45,488)	110.1	(16,639,114)	(529,411)	105.8

編集後記

前会長の事故により、新しく二宮電線工業(株)の二宮社長が新しく会長に就任されました。このセンサーも13号となりましたが、これから新会長のもと、新しい歩みを始めようと思います。

要望等、何か御意見がありましたらお寄せください。

昭和59年6月発行 No.13

発行所 東京温度検出端工業会

事務局

東京都品川区西五反田1-13-11(西村ビル)

電話 494-0671